

(気づき)

◇北海道～九州  
◇常緑小高木～低木  
◇ヒノキ科



100%

[檜]

日本産の常緑針葉樹。雄花は葉の裏側に集まり、雌花は葉の先端に集まる。葉は細長く、針状で、冬も落ちない。樹皮は灰色で、縦に溝が入っている。葉の裏側に白い毛が生えている。花は淡紫色で、秋に咲く。果実は球状で、赤く熟する。葉は乾燥して焚火の燃料としても使われる。



(気づき)

◇北海道～九州  
◇落葉つる植物  
◇ツタ科



30%

[藤]

◎5月ごろに紫色の花をぶら下げる。葉は、小さな葉が鳥の羽のように並んだ形。秋に大きなさや形の実をぶら下げる。



(気づき)

◇本州～沖縄  
◇常緑低木  
◇モロセ科



80%

[薔薇]

◎5月ごろに紫色の花をぶら下げる。葉は、小さな葉が鳥の羽のように並んだ形。秋に大きなさや形の実をぶら下げる。



(気づき)

◇北海道～九州  
◇落葉低木  
◇アジサイ科



40%

[紫陽花]

◎5月ごろに紫色の花をぶら下げる。葉は、小さな葉が鳥の羽のように並んだ形。秋に大きなさや形の実をぶら下げる。



新島村立式根島中学校 木のしおり



◎白い花と緑色の若葉が特徴のサクラ。伊豆大島の周辺が原産で、各地の公園にも植えられる。葉のギザギザは糸状。

オオシマザクラ [大島桜]

50%

花(春)



◇房総～伊豆 ◇落葉高木 ◇バラ科

公益財団法人ニッセイ緑の財団

◎黒紫色の実がなる果樹。春は白やピンクの花が咲き、秋～冬は赤く紅葉して目立つ。葉は柄がほとんどない。



ブルーベリー [Blueberry]

80%

実(夏)



%表記は実際の葉に対する縮小率

名前 ◇北アメリカ原産 ◇落葉低木 ◇ツツジ科

写真・解説/林 将之 (樹木図鑑作家) 2023.11

◎海辺によく生える木。枝先に赤い芽が1つあり、まわりに葉が集まってつく。芽ぶきは赤みを帯びてよく目立つ。



タブノキ [榊の木]

50%

芽ぶき(春)



(気づき)

◇本州～沖縄 ◇常緑高木 ◇クスノキ科

◎明るい場所によく生える木。葉は先半分にギザギザがあることが特徴。秋に赤く黄色の実がなり、食べられる。



エノキ [榎]

70%

実(秋)



(気づき)

◇本州～九州 ◇落葉高木 ◇アサ科



